

鮮やかに咲きました

11月2日(月)～6日(金)の5日間、樋脇公民館で樋脇町菊花愛好会の皆さんが丹精込めて育てた170鉢のキクが展示されました。

これは、文化祭が中止になり、お披露目の場がなくなったキクをぜひ見てもらいたいと企画されたもので、多くの住民が訪れ、鮮やかに咲き誇るキクの美しさを堪能しました。

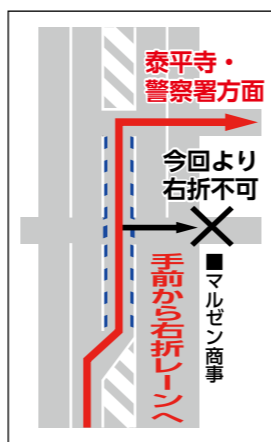
【記事提供：樋脇地区コミ】



都市計画道路 中郷五代線が開通

10月31日(土)、「都市計画道路中郷五代線」の開通式が行われ、翌日明け方に開通しました。

開通により国道267号などから国道3号への交通量が分散され、朝夕の渋滞緩和が期待されます。なお、国道3号から薩摩川内警察署方面へ右折する場合は、図のとおりに進んでください。



ボランティア活動で地域貢献

10月18日(日)～20日(火)にかけて甑島で、(株)岡野エレクトロニクスの社員延べ150名によるボランティア清掃作業が実施されました。

これは、台風10号通過により、ごみなどが散乱してしまっ



た甑島で、観光客などを気持ちよく迎え入れられるようにと、同社により清掃活動が企画されたもので、後片付けに追われる地元の方々にも大変喜ばれました。

また、11月2日(月)には、その同社の温かい活動に対し、市から感謝状が贈呈されました。



映画「大綱引の恋」特別上映会と舞台あいさつ

10月30日(金)から本市の伝統行事「川内大綱引」をテーマにした映画「大綱引の恋」が鹿児島県内で先行上映され、10月31日(土)には、川内文化ホールで特別上映会と舞台あいさつが行われました。

舞台あいさつでは、主演の三浦貴大さんをはじめ、



比嘉愛未さん、中村優一さん、西田聖志郎さん、升毅さんが登壇。三浦さんは「薩摩川内に帰ってきてみなさんに映画を見てもらえて本当にうれしい。この映画で少しでも皆さんの中にあっただかいものを感じてもらえたら」と話しました。

聞いて 見て 宇宙の魅力を学ぼう

10月23日(金)、樋脇小学校で、出張星空観望会 in 樋脇が開催されました。

160人が参加し、せんだい宇宙館の今村聡館長と別府修治さんによる秋の星座と天候の講話や、土星をはじめ惑星の観測などを通して、宇宙の魅力に触れる良い機会となりました。



帰ってきた「つばめ」

10月下旬、16年半ぶりに肥薩おれんじ鉄道線内へ「つばめ」が帰ってきました。

これはJR九州が運行する観光列車「36ぷらす3」の乗務員訓練のための試運転列車で、帰ってきた「つばめ」を一目見ようと、景勝地の西方海岸には多くの鉄道ファンが集まりました。



避難所での感染症対策などへ活用を

10月30日(金)、鹿児島県建設業協会川内支部および宮之城支部から、段ボール製間仕切り「KAMIKABE(かみかべ)」の贈呈がありました。

これは、避難所における感染症対策と同時に、避難生活の質を高めるためのもので、災害時に活用されます。



「まちの話題」に投稿ください。



まちの話題は、市民の皆さんからいただいた情報により、身近な話題を掲載しています。皆さんからのたくさんの投稿お待ちしております。

投稿方法

- ①タイトル(11文字程度) ②本文(140文字程度)
 - ③投稿者名 ④連絡先 ⑤写真1枚～3枚
- を添えて、広報室までメールで投稿ください。
メールアドレス/koho@city.satsumasendai.lg.jp

※内容やスペースの都合により掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ファミリー自然探検隊と森の学校

10月25日(日)に少年自然の家で開催したファミリー自然体験隊では、9家族が芋掘りやサツマイモパイ作りなどで寺山の秋を満喫しました。また、10月30日(金)に開催した森の学校では、19人の参加者が、手回しろくろで悪戦苦闘しながらも、ひとりひとりが個性あふれる抹茶わんを完成させました。



移住者がつなぐ絆！

明治19年から3年間にわたり、2千人近くが甑島から種子島に移住されています。

10月29日(木)、西之表市長をはじめ子孫(4～5世代)の方々が下甑町手打などを訪問し、先祖の故郷である甑島の皆さんとの交流により、絆を深められ、交流の継続を誓い合いました。

